



登別市図書館

登別といえばやはり温泉ですよね。でもまだ一度しか行けていません。クマ牧場も1度だけ。いずれも東京にいる時に訪れました。30年ぐらい前かな。

ちなみに温泉地域は大きく2つ。1つは登別温泉、もう1つはカルルス温泉です。カルルス温泉の方が登別温泉より8キロほど山の中に入ったところにあります。それぞれ湯に違いがあるようで、是非違いを試してみてください。

登別市図書館へ行くには登別駅で下車してはいけません。札幌から特急「北斗」か「すずらん」に乗車。東室蘭駅で下車。各駅に乗り換えて幌別駅で下車します。1時間50分ぐらいで行けます。駅から図書館まで徒歩10分ほど。登別市役所、登別市民会館など官庁は幌別駅が最寄りです。2024年11月現在人口は43000人ほど。観光は重要な産業です。

図書館へ向かう途中に登別中央ショッピングセンターアーニスがあります。こちらの2階に登別市図書館の「アーニス分館」が入っています。こぢんまりとしていますが、AV機器やパソコンも使用できます。施設の向かいには無人古書店があります。定価は100円均一など！箱に代金を入れるという至ってシンプルな販売です。まだ営業しているのかな？

この「アーニス」ちょっと頭に残してください。

登別市図書館は3階建ての図書館ですが、あいにくエレベーターはありません。1階には児童書、2階に一般書、3階はレファレンスと地域資料と会議室という構成です。

1972年に出来たので、築年数はかなり経過しています。面積もそれほど大きくなく、駐車場も数台しか止めることができません。そして建物の真ん中に階段があるという構造です。

登別に関わりのある作家陣や有名著名人の名前が館内に掲示してあります。小樽の看板猫『みんなケンジを好きになる』の写真家、土肥美帆さんは登別のご出身なので勿論名前が書かれています。

『北に生きる猫』を発行した際に図書館が旗振りになって土肥さんの講演会と作品展を計画していたのですが、2019年冬のコロナ直撃で中止になってしまいました。とても残念です。

登別は西いぶり広域図書館として、室蘭市と伊達市の図書館と連携しています。システム統合、利用者カードの互換性など相互共通利用ができるように構築されています。つまり室蘭の利用者カードを持っていたら登別で使用できるし、予約や受け取り、返却もできるということで

す。勿論リクエストなども WEB からできます。予約連絡メールの発信元は「西いぶり広域図書館」という名になります。市立図書館同士でここまで連携しているのは道内でも珍しいと思います。

さて、「アーニス」について触れますね。

登別市図書館はこのように建物がとても古く、バリアフリー、パーキング、書架の限界など課題が山積しており、移転もしくは改修を計画しています。そこに登場したのが「アーニス」です。このショッピングセンター2 階に図書館を移転しようというものです。パーキング、バリアフリーなどの問題が解決し、買い物に便利なので利便性が良い。現在 2 階は職業相談室など公共施設が入っています。その公共施設をまもなく完成する新庁舎に移して、2 階すべて図書館にするというプランです。

「アーニス」は 1994 年にオープン。登別市図書館アーニス分館は 2014 年に開館しています。平成初期に建てられた建造物が各地でそろそろ古くなってきていると耳にします。確かに築 30 年経過しているわけです。すると、仮にここに移転しても、20 年もしたらまた移転含めて検討しないと行けないのではないかという議論です。しかし市としては新たに図書館を作る財政的余裕がなく、もし作るなら複合施設として運営すべきだろうし、だとしたら町づくりという視点からもっと検討しないとイケないわけです。

隣の伊達市図書館は 2026 年7月新図書館具体的な作業が始まっているだけに、登別市としては意見が分かれています。詳細は伊達市図書館のコラムで書きます。

市民が満足できる登別市図書館を期待したいです。

2024 年 3 月訪問

加藤 重男